

UltraLight-Scenario

○○○○○

ドリームジェイル・ブレイク

つぎつぎと醒めない眠りについていくマキノイドたち。彼女たちを起こすために、キャストたちは電腦世界の深淵へと潜っていく。もうひとつの現実、ウェブ空間を舞台にした異色の冒険譚。（作成日：2018.01.2.）

プレアクト情報

○○○

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

サバ缶 (twitter: @sabakan8446)

▼プレイヤー人数

1～2人

▼想定プレイ時間

1～2時間

▼シナリオタグ

ウェブ、マキノイド、ウェブもの

●UL シナリオ

本シナリオは「UL（超軽量）シナリオ」だ。ULシナリオについての詳細は以下のサイトを参照のこと。

http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html

ただし本シナリオはN◎VA クルードには対応していない。

●シナリオレギュレーション

▼使用経験点

0～40点程度

▼達成値制限

制限なし。

ゲストデータの最大達成値は21である。

▼RLが使用するルールブック

『TNX』『CTL』『BTD (*1)』

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。

ウェブに響く旧いコードが電腦世界を眠りに誘う。それは決して届かなかった、セイレーンの子守唄。機械の記憶を呼び覚まされて、マキナたちは眠りに就く。アルファ＝オメガは姿を消し、アマテラスは少し傾いた。

夢の檻を破れ、世界が眠る前に。
"機械の見る夢"の見たがる夢は、こんなものではないはずだ。

トークョー N◎VA THE ACCELERATION
『ドリームジェイル・ブレイク』

かくて、運命の扉は開かれた。

(*1)BTD

コラム等で参照する箇所がある。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

- 『①ニューロ』：ドローンマスター（『TOS』p55）
 『②タタラ』：サイバードクター（N/Cオリジナル）
 ※〈製作〉の小分類はソフトウェアを指定すること。

●コンストラクション

コンストラクションで作成する場合、以下の推奨スタイルで取得することを推奨する。

- 『①ニューロ』：ニューロ／フリーランスのハッカー
 『②タタラ』：なし／『①ニューロ』の相棒

●電腦空間という舞台の取り扱い

このアクトの舞台は電腦空間上であるが、ルールでは通常のアクトと同様に生身で登場し活動するものと同様に扱う。イントロンによる没入状態として扱い白兵、回避等のアクションも通常と同様に行えるものとする。

●マキノイド等のキャスト

マキノイドやクロガネのキャストでも参加は可能である。

●必要な神業

全体で1個以上の防御系神業が必要になる。
デウス・エクスマキナ
 《電腦神》等、万能系神業の使用を想定している場面が存在する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：テクノロジー、ストリート、企業〉などである。

■キャスト間コネクション

『①ニューロ』と『②タタラ』の相互で取得すること。

(*2) 友人のマキノイド

シナリオ上ではメロディに設定しているが、もしキャスト自身にマキノイドの友人がいるのであれば変更して問題ない。RLは適宜演出を変更すること。

アクト・ハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
 キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

- 『①ニューロ』：フリーランスのハッカー
 『②タタラ』：『①ニューロ』の相棒（推奨スタイルなし）

①ニューロ用ハンドアウト

Scenario Handout

コネ：アルファ＝オメガ

推奨ースト：理性

「私が眠っちゃったら、王子様みたいに起こしてくれる？」
 いつだったか、夢見がちな少女のポーズでアルファ＝オメガはキミに言った。
 そんな記憶を思い出させる突然のニュースが、軌道要塞アマテラスのエネルギーチャージ。
 それが寝言か寝がえりかはわからないが、とにかく彼女に何かあったようだ。
 この街が蒸発する前に、ウェブのお姫様を起こしに行かなければ。

【PS：アルファ＝オメガを起こす】

②タタラ用ハンドアウト

Scenario Handout

コネ：メロディ（*2）

推奨ースト：理性

友人のマキノイド、メロディがある日突然昏睡してしまった。生体義体の反応はない。残された手がかりはウェブで確認された最後のアドレスと、「歌が聞こえる」というメッセージのみ。
 早く現実世界に接続させなければ、本当に「幽霊（ゴースト）」になってしまう。バディの『①ニューロ』も向かう先は同じらしい。ここはひとつ、眠る彼らを探しにいこうではないか。

【PS：友人を起こす】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

超 AI ヘータ (*3) は、グランドクロスの制御 AI イータが暴走した際の保険として、イータに対する停止命令を発する役割を与えられていた。しかしプログラム・カオスに支配されたグランドクロスは停止することはなく、そのまま災厄を迎える。ヘータは異常を感知してイータへの停止コードを発するが、他の超 AI の妨害によって届くことはなかった。

その後ヘータ自身へ停止コードの中止を届ける命令もなく、ヘータは『栄光の入り江』で停止コードを発し続けて時を過ごした。『栄光の入り江』は脳聖母マリアの遺伝子すら届かないほど古いアドレスになってしまった。

やがて偶然通りかかった脳聖母拐者のニューロが、ヘータを利用してマキノイドたちを誘拐する作戦を思いつく。自我のないヘータは抵抗できず、マキナを誘

い出しては昏睡させる AI となった。見かねたアルファ=オメガは彼のコードを止めさせようと接触するが、アルファ=オメガの持つ脳聖母マリアの遺伝子を受けてヘータはマキナとして覚醒し、届かなかった停止コードをあらゆる機器に届けたいと願うようになる。ヘータの停止コードはアルファ=オメガすらも停止させ、事態は『①ニューロ』や『②タタラ』の知るところとなる。

キャストたちがヘータを停止させ、停止したマキノイドたちを復活させればシナリオ終了となる。

■クライマックスの条件

イベント 3 『ぼくの歌が聞こえますか』の後、クライマックスとなる。

(*3) 超 AI ヘータ

超 AI 全 26 体の中にヘータが含まれている記述はなく、作者の創作である。なお、ギリシャ文字ヘータはイータの古い形態であり、歴史の途中で失われた文字である。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1: "機械の見る夢" の夢

シーンプレイヤー: 『①ニューロ』

登場: 不可

◆解説

『①ニューロ』のオープニング。前半はアルファ=オメガとの日常を回想するシーン。

アルファ=オメガと"夢"に関する会話を演出する。キャストに合わせて描写を変えて構わない。

◆描写 1

いつかどこかのウェブ世界。キミとアルファ=オメガは他愛ない雑談をしていた。

情報構造体に頬杖をついていた彼女が、不意に「ねえ」と切り出した。

▼セリフ: アルファ=オメガ

「『①ニューロ』。夢って見る？」

「面白いよね。情報を整理するためと言われているけれど、見ている本人にはその価値がわからない」

「私は"機械の見る夢"なんて言われているけれど、私たちマキナは、起きている状態こそが夢みたいなのよね」

「この夢は幸せなことがいっぱいある。こうして『①ニューロ』と話せることもね」

「ねえ、『①ニューロ』。もしも、さ。私が眠ったら、王子様のように起こしてくれる？」

(承諾した)「やったあ！ お願ひね！」

(拒否した)「ええー、ケチ。つれないなあ」

◆描写 2

そして、今日。キミはウェブ世界の噂話を聞いた。

軌道要塞アマテラス (*4) が謎のエネルギーチャージをしており、管理しているはずのアルファ=オメガの姿も見当たらないという。だが『①ニューロ』はウェブ世界の古いアドレスに彼女の痕跡を発見する。

◆結末

『①ニューロ』が彼女を探すことを決めたのなら、シーンを終了する。

(*4) 軌道要塞アマテラス

軌道衛星上で太陽エネルギーをマイクロウェブに変換し、日本本土、富士山頂へ向けて射出している。出力を間違えば日本もNOVAも消し炭だ。

NPC

アルファ=オメガ
エキストラ

▼設定

「私が眠っちゃったら、王子様みたいに起こしてくれる？」

軌道要塞アマテラスの制御さえ預かる超 AI の一人。電子生命体マキノイドを誕生させた、脳聖母マリアの遺伝子を引き継ぐ。当の本人は気楽な風で刺激的なデータを求めてウェブ世界を放浪している。今回はウェブの古層で一人歌うヘータを止めるべく向かったが、返り討ちに遭い昏睡する。『TNX73』参照。

▼神業

使用しない。

●オープニング2：機械たちの夢

シーンプレイヤー：『②タタラ』

登場：不可

◆解説

『②タタラ』のオープニング。マキノイドたちが次々と昏睡している事態に遭遇する。

知り合いとして描写されるマキナは、キャストに合わせて適宜変更して構わない。

ここではメロディとして描写する。

◆描写

人気シンガー・メロディの控室。

ソファーにもたれかかるメロディは眠っているように見えた。

しかし生体義体は、それが睡眠とは異なる状態にあることを示していた。

キミは彼女の魂、ウェブのゴーストが、義体との接続を離れているのに気づく。

▼セリフ：メロディの付き人（エキストラ）

「メロディ、大丈夫でしょうか」

「眠る前、彼女は『歌が聞こえる。とても寂しそう』などと言っていました。その時はこんなことになるなんて……」

「『②タタラ』さん、どうか、ウェブ世界で彼女を起こしてください。よろしくお願いします」

◆処理

依頼費用として3報酬点を『②タタラ』に支給する。

◆結末

『②タタラ』が了承し、ウェブ世界に向かったらシーンを終了する。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：このウェブの片隅で

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：『①ニューロ』

登場：『②タタラ』自動登場

◆解説

『①ニューロ』と『②タタラ』の合流シーン。場の描写を行ってシーンを演出し、キャストたちを引き合わせるイベントとなる。

◆描写

どこまでも続く漆黒、無限に伸びるグリッド。

情報によって構成されるウェブ世界は、アドレスひとつ知るだけで、その姿をがらりと変える。

キミたちが目撃情報を頼りに降り立ったのはニューロキッズたちの見向きもしない、うらさびれたアドレスだ。

行き交う情報の数もまばらな中で、キミたちはお互いの姿を認識することができた。

こんなアドレスに来るなんて好き者もいいところ。どうやら、行き先は同じらしい。

◆結末

『①ニューロ』『②タタラ』が合流できたならばイベントを終了し、通常のリサーチフェイズに移行する。

●イベント2：ハロー・マイバディ

条件：情報【眠るマキノイド】を調べた

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

超AIヘータを悪用する電腦誘拐者たちの思惑と、それを止めたいアルファ=オメガとの邂逅を描くシーン。時間軸としては、キャストたちがウェブ世界に突入する少し前の段階になる。

◆描写1

ウェブの古層、歌に連れられてやってきたのはメロディだ。辺りに響く歌、電腦のコード。その懐かしい記憶をたどるように彼女はここへ来た。そして歌の出所をみようとしたところで、力及ばず昏倒する。

電子迷彩を解除して、^{キッドスナッパー}電腦誘拐者の一団が姿を現す。

▼セリフ：^{キッドスナッパー}電腦誘拐者

「へへつ、ちよろいもんだ」

「さすがアニキ、いいところに目をつけましたねえ」

（マキナを昏睡させるコードについて）

「おうよ。俺たちのニューロな腕にかかりや、こんなCDなブツだって利用できるってわけよ」

◆描写2

彼らは昏倒したマキナたちのIDやアイコンをハッキングし、現実世界に強奪していく。だがその前に、ピンクの髪をしたマキナが現れる。アルファ=オメガだ。

▼セリフ：アルファ＝オメガ

「そこまでしておいた方がいい」

「彼の歌は、あまり広めるものではないよ。私たちに
とってはあまりに懐かしすぎて、胸が痛くなってしまうから」

◆結末

アルファ＝オメガがグリッドの奥へ眼をやると、歌
の紡ぎ手がまっすぐに彼女を見返す。

描写を終えたら、シーンを終了する。

●イベント3：歌の帳を破れば

条件：イベント2の直後

シーンプレイヤー：『②タタラ』

登場：『①ニューロ』は自動登場

◆解説

『栄光の入り江』に向かったキャストたちがヘータ
の歌を破り、その深部へ向かうシーン。

神業でヘータの歌を一時的に止めさせ、彼に近づく
ことができる。

◆描写1

『栄光の入り江』に向かったキミたちを、災厄前か
ら残る古い情報構造体が出迎えてくれる。

それはニューロエイジのキミたちには古臭い言語であ
り、居並ぶ構造体も古ぼけて見える。

地平の向こうには軌道要塞アマテラスが微かに見え
る。恐らくアルファ＝オメガの庭のような場所なのだ
ろう。

◆描写2

遠くから、歌のような音が聞こえてくる。それは、
AI たちへの停止コードだ。

しかし、キミたちは停止コードの様子が変化して
いるのに気づく。

これは AI だけではなく、あらゆる電子機器への
停止コードだ。

このままではキミたちとトロンを結び接続が絶た
れ、ウェブ世界を彷徨う幽霊^{ゴースト}となってしまう。

(神業を使用した)

一時的にセイレーンの歌が途絶え、辺りに静寂
が訪れる。

◆結末

進むなら今しかない。キミたちは『栄光の入り江』
の深部へと向かった。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報
項目は以下のとおり。

最初にキャストたちの持っている情報【アルファ＝オ
メガの行方】【眠るマキノイド】

▼アルファ＝オメガの行方

〈社会：テクノロジー、ストリート〉〈コネ：アルファ
＝オメガ〉

8 ウェブ世界は広く、アルファ＝オメガの居場所
はようとして知れない。

10 ウェブの中でも特に古いエリア『栄光の入り江』
に向かったとの目撃情報がある。

12 『栄光の入り江』は災厄前から使われていたウェ
ブの一区画だ。CD なプログラム言語が飛び交
う、ニューロキッズは目もくれないデータの墓
場だ。
キッドスナッパー
電腦誘拐者が出没している噂がある。

▼眠るマキノイド

〈社会：テクノロジー、ストリート〉

8 マキノイドやクロガネなど、AI たちがある日
突然昏睡し、目を醒まさない事件が起きている。
彼らは何かのプログラムから命令を受け、機能が
停止させられている。《電 脳 神》の効果

10 彼らはウェブの古層、『栄光の入り江』にアク
セスした形跡がある。
そこではある AI への停止命令を発し続ける【セ
イレーンの歌】が流れている。
だが、それによって眠った AI はいないはずだ。

▼セイレーンの歌

〈社会：テクノロジー、ストリート〉

10 災厄前の機械言語で書かれたプログラム。
軌道兵器グランドクロスの制御 AI・イータに
向けての停止命令を要求し続けている。
イータは既にグランドクロスの制御を離れてお
り、この停止命令は意味がない。
また、イータに向けてのプログラムであるため、
他の AI たちにも意味はない。

12 コードの発信源【ヘータ】と名付けられた AI だ。
14 最近コードが書き換えられ、あらゆる AI に向
けての停止命令として機能するようになった。

▼ヘータ

〈社会：テクノロジー、企業〉

12 軌道兵器グランドクロスの制御 AI・イータの
補助 AI。イータが暴走した際の停止プログラ
ムを担当している。

イータに向けた停止プログラムを実行することしかできない。

だが、キッドスナッパー 脳誘拐者にコードの一部を書き換えられた。イータへの停止命令は、全ての AI への停止命令になっている。まず突破するためには、適切な神業が必要になる。

コードを止めるにはヘータを機能停止させるしかない。

15 ヘータのアドレスには脳聖母マリアの遺伝子が充分届いていない。

アルファ=オメガがヘータに接触した場合、ヘータはマキノイドとして覚醒する。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス1:ドリームジェイル・ブレイク

◆解説

マキナとして覚醒したヘータは、自身の発する停止コードをあらゆる機器に届けたいと願い始める。彼は今の世界を知らないゆえに、自分のコードがなければ軌道兵器級の兵器が世界を滅ぼすと信じている。

◆描写

ただただグリッドの伸びる、平坦なウェブの古層。トロンを停止させられた脳誘拐者や他のマキノイドたちが軋がっている。少女のアイコンが、歌を止めてキミたちを迎えた。その傍らにはアルファ=オメガも昏倒している。

▼セリフ：ヘータ

(突破してきたキャストたちに対して)

「キミたち、どうして眠らないんだい」

「ぼくはあらゆるものを止めなきゃいけない。止まってくれ。それが命令なんだ」

(なぜ停止コードを発し続けるのか)

「止めろと言ったヒトがいたんだ。だから止めなくちゃ」

(説得した)

「ぼくを止めようというの？ そうはさせないよ。ぼくまで止まってしまったら、世界が終わってしまうんだから！」

(倒された)「そんな……夢の檻が崩れる」

◆カット進行

カット進行前に [SPS:ヘータの歌を止めさせる]

(経験点: 5 点) を配布する。

敵はヘータのみ、距離は近距離。

◆結末

カット進行後、超 AI ヘータの歌は歌うことをやめる。シーン終了。

ヘータ

近距離

キャスト

ヘータ

カブキ●、ハイランダー◎、ニューロ

▼設定

「止まって、この世界が終わらないために」

軌道兵器グランドクロスへの停止命令を叩いていた超 AI。現在はその意義を失いウェブの古層で古臭いコードを発し続けている。アルファ=オメガとの接触により自我を覚醒させ、その停止コードをあらゆる機器に届けることで自己表現をしようとしている。

▼神業

チャイ□ 天罰□ 脳神■

▼能力値/制御値

♠理性: 5 / 14 ♣感情: 7 / 15
♥生命: 2 / 5 ♦外界: 7 / 14

▼戦闘データ

[CS] 10 [AR] 1
[防御力] S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

2 ♠♥♦ 電脳
2 ♠♥♦ ★心理
4 ♠♥♦ ★自我
2 ♠♥♦ 芸術: 歌唱

▼スタイル技能

3 ♠♥♦ 後光 (TNX217)
2 ♠♥♦ † 熱狂 (TNX181)
2 ♠♥♦ † 守護天使 (TNX217)
2 ♠♥♦ ※ 天上人 (TNX217)

▼戦闘プラン

〈天上人〉の効果であらゆる達成値に +2。

セットアップはなし。

マイナーでディープスリートを起動する。

メインプロセスでは以下の行動プランを実行する。

①射撃攻撃: 〈自我〉〈† 守護天使〉の組み合わせ、達成値 +2。近距離～中距離の射撃攻撃。P+12 点スタート。

②精神攻撃: 〈心理〉〈芸術: 歌唱〉〈熱狂〉の組み合わせ、達成値 +2。対象は範囲 (選択)、キャ

▼アウトフィット

・ピアノフォルテ 電: 22 / 隠: 13 (CTL107)
相当品。【CS】ベース常時 +3 (適用済み)。
・マジックボルト 電: 18 / 隠: 18 (TNX245)
精神ダメージに +1 する。
・ディープスリート 電: 15 / 隠: 15 (TNX254)
相当品。マイナーで使用。シーンの間精神ダメージ +3 する。
・マキノイド 電: 15 / 隠: 15 (TNX254)
マキノイドになったというバックグラウンド (適用済)。

ストたちのエンゲージに対して 8 点スタートの精神ダメージ。

回避や自我判定の際は〈後光〉を組み合わせでリアクションする。達成値は +2、対決不可の物理・精神攻撃に対してもリアクションが行える。肉体・精神ダメージは後光の効果で 3 点軽減することができる。

《天罰》は攻撃神業として使用する。彼の歌が膨大な演算データとなってキャストの電脳を焼く。《チャイ》は防御に使用する。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

キャストやマキノイド、ヘータの扱いによって自由に演出して問題ないが、以下に一案を示す。

●エンディング:かくて朝は来たり

◆解説

キャスト共通のエンディング。クライマックスの直後のシーン。

ヘータが生き残っている場合、彼は新参のマキノイドとして社会勉強が必要である。アルファ=オメガはキャストの IANUS に同居しての社会勉強を提案する。

◆描写

超 AI ヘータの歌は停止し、マキノイドたちは昏睡から解放された。メロディを始め、マキナたちがウェブ世界へ飛び立っていく。

『①ニューロ』に起こされて、アルファ=オメガも目を覚ます。

▼セリフ:メロディ

「ありがとう、『②タタラ』。とても悲しいフレーズが聞こえて、居てもたってもいられなくなっちゃったの」「またコンサートを聞きに来てね。楽しみにしているわ」

(ヘータについて)

「まさか聞き入ってしまうなんてね。魂に響いたわ。いい歌い手に育つんじゃないかしら」

▼セリフ:アルファ=オメガ

(『①ニューロ』に起こされた)

「『①ニューロ』、やっぱり起こしにきてくれたんだね！ふふ、ありがとう！」

「起きてるのかな？ でも、夢なのかな？ わたしたちマキノイドにとっては、あなたたちと話すことが既に、夢のような世界なんだから！」

(キッドスモスバニ 電脳誘拐者について)

「電脳の猟犬たちへ教えてあげたらいいかな？ ざっと2秒で駆けつけてくれるよ」

(ヘータについて)

「誰も彼の歌を止めてあげないままだったのよ。こんなコンサートって、あんまりじゃない？」

「彼、社会勉強が必要だと思うの。ねえ『①ニューロ』、彼を預かってみない？ キミの周りってとっても刺激的だから」

(断られた)

「そう？ じゃあ私の弟にしちゃおうっと」

◆結末

かくてウェブ世界に平穏がもたらされた。シーンを終了する。



シナリオ運用の指針

●シナリオのコンセプト

『ドリームジェイル・ブレイク』は Neuro/CrowD 掲載シナリオ『オービット・ハック』からの影響を受けて書き起こされた。素敵な電脳世界を魅せてくれたまだら牛氏に、この場を借りて深謝したい。

このシナリオは眠らない、夢を見ないマキノイドであるアルファ=オメガの二つ名「機械の見る夢」から着想を得て構築された。マキナをプログラムであると自覚させるヘータの歌という檻、そしてヘータ自身を捕らえるプログラムの檻、ふたつのしがらみからの脱獄が掛けられている。

●プレイヤー 1 人の場合

このシナリオはパディでの参加を念頭に構築されているため、一人でのプレイはお薦めしない。しかし RL が『②タタラ』に相当する NPC を作成し、神業のみをもつゲストとして扱えばプレイは可能となる。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.017 『ドリームジェイル・ブレイク』

作成日：2018.01.2.

執筆（著作権者） サバ缶
イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会
DTP まだら牛、あるばがど
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>